

( W G 6 - 1 2 別添資料 2 )

# F M C の電気通信番号に係る 具体的対応策

平成17年12月19日  
F M C アドホックグループ

## 検討対象範囲と組み合わせパターン

FMCの固定及び移動の各組合せに対して、FMC番号を「0AB～J、090/080、070、050、新規番号060/0A0」とした場合の各パターンについて評価を実施

固定 \ 移動	080/090	070	050	FMC用番号
0AB-J				
050				
番号なし				

【FMCに使用する可能性のある番号】

「0AB～J」、「090/080」、「070」、「050」、「新規番号060/0A0」

## 評価基準及び前提条件

以下の4項目について、発信者への影響が大きいと想定される場合は×、小さい場合は とする

地理的識別	0AB-J	↓ × ↑
	その他	
料金識別 <small>着信する先の網において、従来の料金を発信者に請求する前提</small>	050	↓ × ↑
	0AB-J	
	090/080/070	
品質識別	0AB-J	↓ × ↑
	その他	
社会的信頼性の識別	0AB-J	↓ × ↑
	その他	

# パターン別評価表(080/090)

	パターン	PT	PT	PT	PT	PT	PT	PT	PT
	網の組合せ	090/080 - 0AB-J	090/080 - 050	090/080 - FMC用	090/080 - 0AB-J	090/080 - 050	090/080 - 0AB-J	090/080 - 050	090/080 - FMC用
	使用番号	090/080			0AB-J	050	新規番号(0A0, 060)		
発信者	地理的識別	地理識別の役割を持たない番号を使用する為、影響小	地理識別の役割を持たない番号を使用する為、影響小	地理識別の役割を持たない番号を使用する為、影響小	0AB-J番号の地理識別性が崩れる為、影響大	地理識別の役割を持たない番号を使用する為、影響小	新規FMC番号として新たに移動性の定義を行う為、問題なし	新規FMC番号として新たに移動性の定義を行う為、問題なし	新規FMC番号として新たに移動性の定義を行う為、問題なし
	料金の識別	想定する料金と同等以下となる為、影響小	想定する料金と同等以下となる為、影響小	想定する料金と同等以下となる仮定の下で、影響小	想定する料金以上となる為、影響大	想定する料金以上となる為、影響大	新規FMC番号として、新たな料金定義を行うため、問題なし	新規FMC番号として、新たな料金定義を行うため、問題なし	新規FMC番号として、新たな料金定義を行うため、問題なし
	品質の識別	想定する品質と同等レベル以上となる為、影響小	想定する品質と同等レベル以上となる為、影響小	想定する品質と同等レベル以上となる仮定の下で、影響小	想定する品質以下となる為、影響大	想定する品質と同等レベルとなる為、影響小	新規FMC番号として、新たな品質定義を行う為、問題なし	新規FMC番号として、新たな品質定義を行う為、問題なし	新規FMC番号として、新たな品質定義を行う為、問題なし
	社会的信頼性の識別	想起する信頼度と同レベル以上となる為、影響小	想起する信頼度との乖離は発生しない為、影響小	想起する信頼度との乖離は発生しない為、影響小	想起する信頼度と同レベル以下となる為、影響大	想起する信頼度との乖離は発生しない為、影響小	想起する信頼度との乖離は発生しない為、影響小	想起する信頼度との乖離は発生しない為、影響小	想起する信頼度との乖離は発生しない為、影響小
	サービス識別	現状サービスとFMCサービスの識別不可	現状サービスとFMCサービスの識別不可	現状サービスとFMCサービスの識別不可	現状サービスとFMCサービスの識別不可	現状サービスとFMCサービスの識別不可	新たにサービス定義する為、問題なし	新たにサービス定義する為、問題なし	新たにサービス定義する為、問題なし
	その他	個人が識別可能であるが家庭に着信する場合あり	個人が識別可能であるが家庭に着信する場合あり	個人が識別可能であるが家庭に着信する場合あり	家庭の識別が可能であるが個人に着信する場合あり	家庭の識別が可能であるが個人に着信する場合あり	新たなサービス定義(サービス仕様によっては個人・家庭の識別性に影響有り)	新たなサービス定義(サービス仕様によっては個人・家庭の識別性に影響有り)	新たなサービス定義(サービス仕様によっては個人・家庭の識別性に影響有り)
上記項目については影響の大きさを勘案しつつ提供事業者がサービス仕様を整理									
着信者(FMC契約者)	既存番号利用の継続性	既存番号の継続利用が可能	既存番号の継続利用が可能	既存番号の継続利用が可能	既存番号の継続利用が可能	既存番号の継続利用が可能	既存番号に加えて、新規番号取得・周知が必要となる	既存番号に加えて、新規番号取得・周知が必要となる	既存番号に加えて、新規番号取得・周知が必要となる
その他	番号の効率的利用	既存番号の流用を行う場合には、利用の効率化が可能	既存番号の流用を行う場合には、利用の効率化が可能	既存番号の流用を行う場合には、利用の効率化が可能	既存番号の流用を行う場合には、利用の効率化が可能	既存番号の流用を行う場合には、利用の効率化が可能	既存番号に加えて、新規番号取得が必要となる	既存番号に加えて、新規番号取得が必要となる	既存番号に加えて、新規番号取得が必要となる

# パターン別評価表(070)

	パターン	PT	PT	PT	PT	PT	PT	PT	PT
	網の組合せ	070 - 0AB-J	070 - 050	070 - FMC用	070 - 0AB-J	070 - 050	070 - 0AB-J	070 - 050	070 - FMC用
	使用番号	070			0AB-J	050	新規番号(0A0、060)		
発信者	地理的識別	地理識別の役割を持たない番号を使用する為、影響小	地理識別の役割を持たない番号を使用する為、影響小	地理識別の役割を持たない番号を使用する為、影響小	0AB-J番号の地理識別性が崩れる為、影響大	地理識別の役割を持たない番号を使用する為、影響小	新規FMC番号として新たに移動性の定義を行う為、問題なし	新規FMC番号として新たに移動性の定義を行う為、問題なし	新規FMC番号として新たに移動性の定義を行う為、問題なし
	料金の識別	想定する料金と同等以下となる為、影響小	想定する料金と同等以下となる為、影響小	想定する料金と同等以下となる為、影響小	想定する料金以上となる為、影響大	想定する料金以上となる為、影響大	新規FMC番号を見ることで、着信する場所により料金が大きく変動することもあり得ることを識別可能	新規FMC番号を見ることで、着信する場所により料金が大きく変動することもあり得ることを識別可能	新規FMC番号を見ることで、着信する場所により料金が大きく変動することもあり得ることを識別可能
	品質の識別	想定する品質と同等レベル以上となる為、影響小	想定する品質と同等レベル以上となる為、影響小	想定する品質と同等レベル以上となる為、影響小	想定する品質以下となる為、影響大	想定する品質と同等レベルとなる為、影響小	新規FMC番号として、新たな品質定義を行う為、問題なし	新規FMC番号として、新たな品質定義を行う為、問題なし	新規FMC番号として、新たな品質定義を行う為、問題なし
	社会的信頼性の識別	想起する信頼度と同レベル以上となる為、影響小	想起する信頼度との乖離は発生しない為、影響小	想起する信頼度との乖離は発生しない為、影響小	想起する信頼度と同レベル以下となる為、影響大	想起する信頼度との乖離は発生しない為、影響小	想起する信頼度との乖離は発生しない為、影響小	想起する信頼度との乖離は発生しない為、影響小	想起する信頼度との乖離は発生しない為、影響小
	サービス識別	現状サービスとFMCサービスの識別不可	現状サービスとFMCサービスの識別不可	現状サービスとFMCサービスの識別不可	現状サービスとFMCサービスの識別不可	現状サービスとFMCサービスの識別不可	新たにサービス定義する為、問題なし	新たにサービス定義する為、問題なし	新たにサービス定義する為、問題なし
	その他(個人識別性)	個人をターゲットとしたものであるため、識別可	個人をターゲットとしたものであるため、識別可	個人をターゲットとしたものであるため、識別可	会社、家庭等をターゲットとしていることもあり、必ずしも識別出来ない	会社、家庭等をターゲットとしていることもあり、必ずしも識別出来ない	個人をターゲットとしたものであるため、識別可	個人をターゲットとしたものであるため、識別可	個人をターゲットとしたものであるため、識別可
上記項目については影響の大きさを勘案しつつ提供事業者がサービス仕様を整理									
着信者(FMC契約者)	既存番号利用の継続性	既存番号の継続利用が可能	既存番号の継続利用が可能	既存番号の継続利用が可能	既存番号の継続利用が可能	既存番号の継続利用が可能	既存番号に加えて、新規番号取得が必要となる(現在推進している番号が-91リテの導入意義を問われる)	既存番号に加えて、新規番号取得が必要となる(現在推進している番号が-91リテの導入意義を問われる)	既存番号に加えて、新規番号取得が必要となる(現在推進している番号が-91リテの導入意義を問われる)
その他	番号の効率的利用	既存番号の流用を行う場合には、利用の効率化が可能	既存番号の流用を行う場合には、利用の効率化が可能	既存番号の流用を行う場合には、利用の効率化が可能	既存番号の流用を行う場合には、利用の効率化が可能	既存番号の流用を行う場合には、利用の効率化が可能	既存番号に加えて、新規番号取得が必要となる	既存番号に加えて、新規番号取得が必要となる	既存番号に加えて、新規番号取得が必要となる

# パターン別評価表 ( 0 5 0 )

	パターン	PT	PT	PT	PT	PT	PT	PT
	網の組合せ	OAB-J - 050	OAB-J-050	050-050	FMC用-050	OAB-J-050	050-050	FMC用-050
	使用番号	OAB-J	050			060/OA0		
発信者	地理的識別	OAB-J番号から想定するエリアと異なる可能性あり(特定場所(一部、特定個人)) x	050番号は地理識別の役割をもたないため、問題なし(不特定の場所)	050番号は地理識別の役割をもたないため、問題なし(不特定の場所)	050番号は地理識別の役割をもたないため、問題なし(不特定の場所)	新たにFMC用番号として定義すれば地理識別がないことを認識できるため、問題なし	新たにFMC用番号として定義すれば地理識別がないことを認識できるため、問題なし	新たにFMC用番号として定義すれば地理識別がないことを認識できるため、問題なし
	料金の識別	番号から想定する料金と同等以下となるため、問題なし	OAB-J網着の場合、料金が異なる可能性あり	番号から想定する料金と同等程度であり、問題なし	番号から想定する料金と同等程度であれば、問題なし	新たにFMC用番号として定義すれば料金の識別が可能のため、問題なし	新たにFMC用番号として定義すれば料金の識別が可能のため、問題なし	新たにFMC用番号として定義すれば料金の識別が可能のため、問題なし
	通話品質の識別	050網着の場合、OAB-J番号に期待する品質レベル未満の可能性あり x	050番号の指定要件を満足する品質であるため、問題なし	050番号の指定要件を満足する品質であるため、問題なし	050番号の指定要件を満足する品質であれば、問題なし	新たにFMC用番号として品質不定と定義すれば品質の識別が可能のため問題なし	新たにFMC用番号として品質不定と定義すれば品質の識別が可能のため問題なし	新たにFMC用番号として品質不定と定義すれば品質の識別が可能のため問題なし
	社会的信頼性	050網着の場合、端末の所在地が認識できず、信頼性低下の可能性あり x	着信端末の所在地に対する認識がもともと高くないため、問題なし	着信端末の所在地に対する認識がもともと高くないため、問題なし	着信端末の所在地に対する認識がもともと高くないため、問題なし	新たなFMC用番号として移動性があるサービスと定義すれば、問題なし	新たなFMC用番号として移動性があるサービスと定義すれば、問題なし	新たなFMC用番号として移動性があるサービスと定義すれば、問題なし
	サービス識別	現状サービスとFMCサービスの識別不可 x	現状サービスとFMCサービスの識別不可	現状サービスと同等なため問題なし	現状サービスと同等なため問題なし	新たにサービス定義するため問題なし	新たにサービス定義するため問題なし	新たにサービス定義するため問題なし
	その他留意点(着信先認識)	家庭等では共用の認識が強い(法人等のダイヤルインでは専用に認識あり)	家庭等では共用の認識が強い(法人等では専用の認識あり)	家庭等では共用の認識が強い(法人等では専用の認識あり)	家庭等では共用の認識が強い(法人等では専用の認識あり)	専用(個人)の着信先と定義すれば、問題なし(法人等では共用もありうる)	専用(個人)の着信先と定義すれば、問題なし(法人等では共用もありうる)	専用(個人)の着信先と定義すれば、問題なし(法人等では共用もありうる)
上記項目については影響の大きさを勘案しつつ提供事業者がサービス仕様を整理								
着信側	既存番号利用の継続性	既存番号で利用可能(新規番号の周知不要)	既存番号で利用可能(新規番号の周知不要)	既存番号で利用可能(新規番号の周知不要)	既存番号で利用可能(新規番号の周知不要)	FMC用番号としての利用は不可(新規番号の周知要)	FMC用番号としての利用は不可(新規番号の周知要)	FMC用番号としての利用は不可(新規番号の周知が必要)
その他	番号の効率的利用	既存の保有番号を利用可能	既存の保有番号を利用可能	既存の保有番号を利用可能	既存の保有番号を利用可能	新規番号の申請・取得が必須 x	新規番号の申請・取得が必須 x	新規番号の申請・取得が必須 x

メリット x デメリット

# パターン別評価表 ( F M C 用番号 )

	パターン	PT	PT	PT	PT	PT
	網の組合せ	FMC用-0ABJ	FMC用-050	FMC用-0ABJ	FMC用-050	FMC用-FMC用
	使用番号	0ABJ	050	新規番号 (0A0, 060)		
利用者 (発信側)	地理的識別	地理的識別性が崩れるため、影響あり <input checked="" type="checkbox"/>	地理的識別の役割を持たない番号を使用するため影響なし <input type="checkbox"/>	地理的識別の役割を持たない番号を使用するため影響なし <input type="checkbox"/>	地理的識別の役割を持たない番号を使用するため影響なし <input type="checkbox"/>	地理的識別の役割を持たない番号を使用するため影響なし <input type="checkbox"/>
	料金の識別	番号から想定される料金と同等以下であれば問題なし <input type="checkbox"/>	番号から想定される料金と同程度であれば問題なし <input type="checkbox"/>	新たなFMC用の料金として定義を行うため問題なし <input type="checkbox"/>	新たなFMC用の料金として定義を行うため問題なし <input type="checkbox"/>	新たなFMC用の料金として定義を行うため問題なし <input type="checkbox"/>
	品質の識別	想定する品質以下となるため影響がある。 <input checked="" type="checkbox"/>	想定する品質以上となるため影響なし <input type="checkbox"/>	新たなFMC用の品質として定義を行うため問題なし <input type="checkbox"/>	新たなFMC用の品質として定義を行うため問題なし <input type="checkbox"/>	新たなFMC用の品質として定義を行うため問題なし <input type="checkbox"/>
	社会的信頼性の識別	場所の特定が困難となるため影響がある。 <input checked="" type="checkbox"/>	特に問題は見当たらない <input type="checkbox"/>	特に問題は見当たらない <input type="checkbox"/>	特に問題は見当たらない <input type="checkbox"/>	特に問題は見当たらない <input type="checkbox"/>
	サービス識別	現状サービスとFMCサービスの識別が出来なくなる。 <input checked="" type="checkbox"/>	現状サービスとFMCサービスの識別が出来なくなる。 <input checked="" type="checkbox"/>	FMCサービスとして認識可能 <input type="checkbox"/>	FMCサービスとして認識可能 <input type="checkbox"/>	FMCサービスとして認識可能 <input type="checkbox"/>
	その他	家庭の識別が可能であるが個人に着信する場合がある。 <input type="checkbox"/>	家庭の識別が可能であるが個人に着信する場合がある。 <input type="checkbox"/>	新たなサービス定義(サービス仕様によっては個人・家庭の識別性に影響有り) <input type="checkbox"/>	新たなサービス定義(サービス仕様によっては個人・家庭の識別性に影響有り) <input type="checkbox"/>	新たなサービス定義(サービス仕様によっては個人・家庭の識別性に影響有り) <input type="checkbox"/>
上記項目については影響の大きさを勘案しつつ提供事業者がサービス仕様を整理						
利用者 (着信側)	既存番号利用の継続性	既存番号の継続利用が可能 <input type="checkbox"/>	既存番号の継続利用が可能 <input type="checkbox"/>	新たに番号の周知が必要 <input checked="" type="checkbox"/>	新たに番号の周知が必要 <input checked="" type="checkbox"/>	新たに番号の周知が必要 <input checked="" type="checkbox"/>

メリット × デメリット